

## ABOUT御滝花園

大正七年、三井財閥グループと千葉大学園芸学部がオランダより輸入したチューリップの球根を試験栽培する日本球根植物試験場として、ここ船橋市南三咲の地に開園し、先々代・先代と引き継がれ、戦前は、牡丹、西洋芍薬等の露地栽培、戦後から温室での花卉栽培に転換して、日本国内でパイオニア的に生産・供給を果たしてきました。今では、高品質な季節の鉢花やポット苗を栽培して首都圏の花市場に出荷、温室にて直売もしており、生産者から直に購入できるため、安心してお求めいただけます。もちろん、購入後の育て方やご質問等にもお答えします。特に、シクラメンは1960年後半頃より栽培を始め、御滝花園の主要品目です。10月下旬からパンジー、ビオラ、ガーデンシクラメン等の花苗の直売を皮切りに、11月下旬からシクラメンを温室開放して直売をしています。いい花を創るべく、日々注意深く手間をかけ、心を込めて育てています。

御滝花園  
代表  
三好 邦周

園芸教室「花季 はなごよみ」主宰  
1971年生まれ 玉川大学農学部農学科(育種学専攻)卒業後、オランダにて花卉園芸研修に参加 帰国後、船橋市南三咲 御滝花園に就農

\*D・F・A(オランダ花卉園芸協会認定フラワーデザイン)取得  
\*グリーンアドバイザー(日本家庭園芸普及協会認定)取得  
\*花育キッズプログラム特別講師

園芸教室“花季”随時生徒募集中



御滝花園  
otakikaen

千葉県船橋市南三咲2-15-6

TEL : 047-448-2222 FAX : 047-448-2613

http://otakikaen.jimdo.com/



## シクラメンの 育て方

監修/御滝花園

御滝花園のシクラメンを  
ご愛顧いただきありがとうございます。  
当園では、播種してから1年余りの月日をかけて、  
皆様のお手元で綺麗な花が楽しめるように  
細心の注意を払いながら  
栽培しております



ここに、室内を華やかに彩るシクラメンを  
長く美しく楽しむコツを紹介するので、  
参考にいただければ幸いです。

### 置き場所

日光をたっぷり浴びた温室育ちのシクラメンです。一番大事なのは日光です。窓際の日光がよく当たる場所(レースのカーテンやブラインド越しのやわらかい光)で、3時間以上の日照が望ましいです。日照不足の場合、蕾が咲きあがらない場合がありますのでご注意ください。基本は室内ですが、玄関や窓辺付近より離れている場所等に置かれていて、日照不足と思われる場合は、暖かな風の弱い日に日光浴をさせて、夕方室内に取り込むようにされるといいでしょう。

シクラメンの生育適温は15~20℃です。日中25℃以上、夜間は5℃以下にならないように心がけて下さい。目安として昼夜の温度差が10~15℃が理想です。暖房の効いた室内では、直接温風が当たらない場所、比較的温度の低い場所が適当です。急激な温度差には注意しましょう。

### 水やり

栽培期間中の灌水は、「手灌水」にて行っております。底面給水鉢が普及しておりますが、当園では、全て一鉢一鉢株を観察しながら、鉢土の上からたっぷりと水を与えています。葉を持ち上げ、土の表面をよく見て、指で触って、水分の残り具合を確認して下さい。鉢土の表面が乾いて鉢が軽くなったら、花や



葉そして球根にかからないようにたっぷりと灌水(受皿をひいて鉢底からポタポタ水がでてくる程度)して下さい。受皿にたまった水はその都度捨てるようにしてください。置き場所の日当たり・温度・風通し・天気によって乾き方はそれぞれです。土の表面をよく観察して、その鉢のペースをつかみましょう。目安として3~4日に1回の間隔だと思われま。

### 肥料の与え方

長い期間花を咲かせ続けて楽しむためには、肥料が欠かせません。当園の培養土には緩効性の肥料を元肥として多めに施していますので、年内は水だけで十分です。その後、年明けから、肥料分が切れてくるので(葉色や花色が薄くなる・花の大きさが小さくなる...といった症状)、固形肥料や液体肥料で追肥して下さい。

錠剤タイプの固形肥料を与える場合は、鉢サイズにより異なりますが、1~2粒を鉢土の上のせれば大丈夫です。目安は40~50日に1度位の間隔です。液体肥料を与える場合は、使用用法に準じて1000~3000倍に希釈して、2週間に1度くらいのペースで水やりと同じように与えて下さい。1度にたくさんの肥料分を与え過ぎると、根を痛めてしまいます。“ゆっくり あせらず” がポイントです。

### 花がら摘み

花が古くなって花弁の色が変わってきたら、花がら摘みを。咲き終わった花をそのままにしておくと、病気になったり、種の発育に栄養分をとられてしまうので、早めに摘み取りましょう。枯れた葉も病気の原因になるので球根の元から抜き取ります。



◀花茎を親指と人差し指で挟んで持ち、二本の指をずらして茎をねじりながら上に引き抜く。こうすると、茎は根元から簡単に抜ける。

### 夏越し方法

春先まで楽しんだシクラメンを来年も美しく咲かせるために夏越し方法を紹介いたします。花が咲かなくなっても葉が元気に生育している場合は、水やりと施肥を継続して、夏越しさせます。この場合、6月以降は半日陰に置いて夏の暑い時期は出来るだけ日陰の風通しの良い涼しい場所で管理します。ベランダに置く場合は、よしず等で遮光して直射日光を避けて、雨がつかないように注意して下さい。

秋口以降、少しずつ日光に慣らしながら管理して新葉が生まれて生育していきますと、早春に花を咲かせますので、自分で咲かせた2年目のシクラメンをお楽しみ下さい。